

岡崎市民病院だより(第6号)

平成17年5月25日発行

市民病院院長就任にあたって

院長 平林 憲之



私は岡崎市民病院院長を4月1日に拝命しました。 名古屋の病院から転任してきましたので、岡崎市民の 皆様には初めてお聞きになる名前かと存じます。私が 院長職をお引き受けした目的は市民病院をより市民に 信頼される病院に仕上げるためです。より信頼される ためには基本に忠実になるしかありません。患者様を 大切にし患者中心の医療を行うこと。安全な医療を提 供するために医療事故防止に努めること。医師会をは じめとする地域の医療機関と密接に連携して市内のど こでも安心な医療を受けられるようにすること。市民 病院の経営を安定させること。高度で安全な医療を提 供するために職員の研修や教育を行うことであります。 この目的のために具体的な活動を実行し、設備を充実 させて行きます。病院には医療相談室があります。こ こでは皆様の医療に関する困りごとや疑問や苦情を受 け付けています。ここに寄せられた様々な問題は専門 家により分析され私たち医療従事者に報告されます。 この中で患者様自身やわれわれも気づかなかった問題 点が洗い出されて病院の改善に役立っています。また、 病院職員には事故に至らないまでもはっとしたり、ひ やりとした経験をインシデントレポートとしてその提 出を義務づけています。このレポートの解析と対応で

医療事故の全部ではありませんが大部分は防ぐことができます。また、市民病院では今年度中に新しい統合情報システムが完成し運用に入る予定です。より効率的な病院運営が目的でありますが、この整備によりのを動きないでは安全は確保できませんがら職員の安全教育も十分に行うことは言うませんから職員の安全教育も十分に行うことは言うませんがいる市民病院に皆様のご意見やボランティアとしての活動などを提供していただければさらに充実して行くことでしょう。岡崎市民病院を職員と市民の皆様の協力で市民の病院として大きく育て、この地の美しい桜のような豊かな地域社会を完成させようではありませんか。



医療の広場『知っておきたり知識・言葉』





平成17年4月より個人情報保護法が施行され、一般企業だけでなく、病院など医療機関でも個人情報を保護する取り組みが始まっています。これまでにも、いくつかの企業から大量の個人情報が漏えいしたことが報道されました。現在のような高度情報通信社会では一気に大量の情報が漏れ出してしまう危険が増えているわけです。

個人情報というのは、氏名、生年月日など特定の個人を 識別することができるもの、とされていますが、病院で扱 われる情報には、通常では秘密とされる情報も多く含まれ ているという特殊性があります。

個人情報保護法では、個人情報を利用する目的を予め公表しておくこと、それ以外の目的に使用する場合には本人の同意を得ること、が定められています。また、集められた情報が第三者に漏れてしまわないような体制を作ること、本人からの要望があればその個人情報を開示することが求められています。

個人情報保護法が制定された基礎には、われわれには自 分の情報がどのように集められ、どのように利用されてい るかをコントロールする権利がある、という大事な考え方 があるのです。



「こんにちは」保健指導室です!

みなさんは岡崎市民病院内にある「保健指導室」をご 存知でしょうか?ご存じでない方もたくさんみえると思 います。今回は「保健指導室」を知って頂く良い機会だ と思いますので簡単に「保健指導室」の紹介をさせて頂 きます。

保健指導室は2階周産期センター前に位置し、現在助産師1名 保健師1名が勤務しています。業務内容は、午前中は個別での健康相談・保健指導・母乳育児相談・電話相談・管理栄養士による栄養指導を行っています。これらは全て予約制となっています。午後は集団指導を主に実施しており、赤ちゃんの1ヶ月検診・母親教室・糖尿病を学ぶ集いを行っています。又、社会問題になっている育児不安や虐待に対する取り組みとして、2月より両親(パパママ)学級や虐待防止院内ネットワークの運営を開始しました。その他、低出生体重児(2500g未満の赤ちゃん)の病棟訪問や地域(保健所・訪問看護ステーション等)との連携も行っています。

個別相談でお話しさせて頂く内容として、生活習慣の

看護局 保健指導室 米田志保子

改善や育児授乳のアドバイスはもちろんですが、選択に 迷ったり疲れた時は共に考え、辛い時はお話しも伺って います。患者様はみなさん「何を言われるのだろう?」「厳 しい事をいわれると嫌だな」と思われるようで、緊張さ れた顔で来室されます。ですが1時間ほどお話しをさせ て頂くと「また来てもいいですか」「あんたにあえてよ かったよ。ありがとう」という優しいお言葉を私達スタ ッフにかけて下さいます。

病院に通院されている患者様は何かしら病気を持っていらっしゃるわけですが、人は身体を病むと心まで病むと言われています。患者様に正しい情報の提供だけでなく、お話しを傾聴し共感することで心の不安を少しでも軽くできるのではないかと思います。私達担当者は患者様本人だけでなく、ご家族も含めた広い視野に立ったサポートが必要であると考え日々業務に励んでおります。今後も多くの方に保健指導室の存在を知って頂き、又利用して頂ければと思います。

診療室だより

臨床工学技士をご存知ですか?



『臨床工学技士』(ME)とは1988年に誕生したばかりの 国家資格で、生命維持装置の操作や各種医療機器の保守・ 点検を行っています。医師の診療の補助に従事する看護 師や各種の医療技術者のことをコメディカルと呼んでい ますが、臨床工学技士もコメディカル職種の一員です。 業務内容は大きく分けると救命救急センターや血液浄化 センターなどの臨床管理業務と、MEセンターにおける 医療機器の点検などの機器管理業務の二つになります。

臨床管理業務

血液浄化センター

腎臓の機能が悪く血液中の老廃物や余分な水分を尿として排出できないと血液透析をして人工的に老廃物や水分を除去します。その他、血漿交換療法、血液吸着療法などの各種血液浄化療法に用いる血液浄化装置の操作や点検を行います。



救命救急センター

救命救急センターでは呼吸・循環・代謝などの機能を補助するために、人工呼吸器や 心臓ペースメーカーなどの生命維持管理装置と呼ばれる機器がたくさん使用されていま す。それらの操作や点検を行っています。



心臓カテーテル検査・治療

心臓の冠動脈の動きをみる検査です。心筋梗塞の治療は緊急性が高く、24時間チーム医療の一員として、診療の補助が行えるような体制になっています。場合によっては心臓の補助をする装置の操作を担当します。



手術室

手術室では各種の手術が安全に行えるよう麻酔器などの医療機器が数多く使用 されます。 それらの操作や点検を行っています。 特に心臓の手術の際には、心臓 や肺に代わる働きをする体外循環装置(人工心肺)の操作を受け持ちます。



高気圧酸素療法

高い気圧の下で酸素を吸入させることで、血液中の酸素を増やし、様々な疾患の治療に用いられるのが高気圧酸素療法です。安全な治療が行えるように始業点検や定期点検を行い、操作も担当しています。



医療機器管理業務

病院内にあるさまざまな医療機器の点検や修理などをしています。機器の購入から廃棄までを管理しています。病院内にある医療機器を安全かつ効率的で適切な運用ができるようMEセンターで集中管理を行っています。









当院の臨床工学室は臨床工学技士11名のスタッフで構成されています。医療機器のスペシャリストとして、より高度で専門性の高い医療技術を提供できるように日々努力をしています。

医療技術局 臨床工学室 副主任 西分 和也



第六回を迎えた病院健康講演会

寒波の襲った1月30日の日曜日午後1時から、市民病 院講堂で「血糖値を測ってみよう」と題する第六回市民 病院健康講演会が開かれ、約百人の参加がありました。

市民病院では、市民の方々を対象として、平成15年に 股関節疾患の講演会を行いました。市民の方々の「外来 では忙しくて医師にゆっくり質問が出来ない」あるいは 「ぜひ自分の悩む疾患を理解したい、よく知りたい」と の希望から、この試みは非常に好評でした。その後、六 回を数えることになりました。多くの方々からさまざま なリクエストがあり、これまでのテーマは「高血圧と心 臓病」、「手足の痺れに対する神経学的治療」、「あなたに も出来る心肺蘇生法」、「古くて新しい病気、心臓弁膜症」、 そしてこの度の糖尿病に関する「血糖値を測ってみよう」 などとなっています。会場の設営は、市民病院職員が行 い、講演は市民病院勤務の医師、看護師、栄養士、薬剤 師および理学療法士の面々がつとめます。多数の聴衆を 前にして慣れない壇上での初めてのマイクに、演者がつ いあがってしまい、参加者の中には別の意味ではらはら される方もいるようです。

日本では、新聞には健康欄が毎週掲載され、かなり詳 しい専門的な説明があります。また、家庭医学全書など も広く普及していますから健康に関する情報はあふれ、 国民一般の疾患に対する認識度は高いと考えられます。 にもかかわらず、参加した方々のアンケートでは「病気 の内容がよく理解できた」というものから、「市民に対 して開かれた病院というイメージを持った」、「地域に根 ざす病院として市民のために貢献している姿勢・努力が よい」、「発表が素人らしく稚拙であるが、一生懸命やる 姿勢がよい | などの暖かいものもありました。この講演 会では直接、演者と質疑応答する機会があることや、わ かりやすいスライドやビデオなどでポイントをゆっくり 聞くことが可能であることなどが、参加者に大きな満足 感をもたらすのではと思います。事実、第六回の講演会 でもかなり高度な質問が出て、題目の血糖測定のイベン トの開始時間に食い込んでしまう程でした。

この健康講演会の参加募集は、院内掲示あるいは毎月 の市政だよりに掲載されますので、参加を希望される方 は是非ご応募ください。





当院では、個人情報保護法に則って、 5つの項目からなるプライバシー・ポリシー (個人情報保護に関する基本方針)を定めました。 お気づきの点・疑問な点がありましたら お知らせください。



個人情報保護に関する岡崎市民病院の基本方針

当院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、個人情報保護に努めます。

- 当院では個人情報保護に関する法令その他の規定を遵守し、患者様の情報を管理しています。
- 2 当院では患者様への医療の提供及び病院の運営管理に必要な範囲においてのみ、患者様の個人情報を収集・活用します。
- 3 当院では、患者様の個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏えいを防止し、安全対策に努めます。
- 4 当院では、患者様が継続的に良い医療を受けられるように、診療に関する個人情報を、病院、診療所などに提供します。また、ご家族への病状説明、職員・学生の教育・医療の発展のために情報を利用する場合があります。 その他の目的に利用する場合には患者様の同意を得て行います。
- 当院では、患者様の必要に応じて、最良の医療の継続に支障をきたさない範囲で医療情報を開示しています。

上記の基本方針に関するお問い合わせは、事務局総務課(TEL.66-7012)までお願いします。

付 記

- 1 診療に関する情報の提供・利用について同意しがたい事項がある場合はお申し出ください。
- 2 お申し出のないものについては同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。

病院長

交通案内

公共交通機関ご利用のとき

市民病院行または中央総合公園行の名鉄バスをご利用ください。



名鉄東岡崎駅発 _______ の3路線が運行されています。 大樹寺発 ______

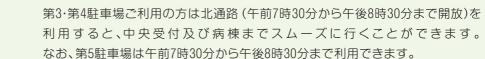
タクシーで行く

正面玄関付近に乗降場があります。



車で行く

駐車場は第1から第5駐車場まで駐車台数646台を確保しております。 正面玄関に近い駐車場は第1・第2及び第5駐車場です。





住 所/岡崎市高隆寺町字五所合3番地1(〒444-8553) 代表電話・ファックス/TEL(0564)21-8111 FAX(0564)25-2913 ホームページアドレス/http://www.okazakihospital.jp/メールアドレス/suggestion.box@okazakihospital.jp

